

## 第26回離島対策等検討会 議事録

1. 日時 2015年2月20日(金)13時00分～14時15分
2. 場所 日本自動車会館11階  
公益財団法人自動車リサイクル促進センター 第2会議室
3. 出席者 大杉座長、渡邊委員、石川委員  
公益財団法人自動車リサイクル促進センター 再資源化支援部  
経済産業省・環境省担当官
4. 議題
  1. 2015年度離島対策等支援事業 出えん計画(案)
  2. 2015年度離島対策等支援事業に係る指定再資源化機関の出えん要望額について(案)
  3. 2014年度離島対策等支援事業 活動報告(暫定版)
  4. 2015年度離島対策等支援事業 活動計画(案)

### 5. 会議の概要

(再資源化支援部)

議題1. 2015年度離島対策等支援事業 出えん計画(案)について説明。

(委員)

議題1. については、承認する。

(再資源化支援部)

議題2. 2014年度離島対策等支援事業に係る指定再資源化機関の出えん要望額について(案)について説明。

(委員)

議題2. については、承認する。

(再資源化支援部)

議題3. 2014年度離島対策等支援事業 活動報告(暫定版)について説明。

(委員)

資料5別紙1「計画の精度向上支援結果」において、事業費予算執行率の目標を一律に80%以上120%以下とすると、比較的規模の小さい市町村では台数の誤差により満たせなくなる。基準を再検討してはどうか。

(再資源化支援部)

今後、基準を検討する。

(委員)

資料5別紙1「計画の精度向上支援結果」において、表中の過去3年間平均実績額が何年度から3年間の平均実績額であるかが不明瞭であるため、資料に明記されたい。

(再資源化支援部)

資料を修正する。

(委員)

資料5「(3)離島近隣の本土事業者に対する周知」において、本土事業者が離島対策支援事業を認知せずに使用済自動車等を収集する影響度を知りたい。

(再資源化支援部)

影響度は把握していない。ただし、2013年度の香川県、岡山県への訪問支援の際、離島との取引がある本土事業者数社に確認したところ、いずれも離島対策支援事業を認知していなかったが、事業活用に向けて前向きな意見があった。

(委員)

議題3. については、承認する。

(再資源化支援部)

議題4. 2015年度離島対策等支援事業 活動計画(案)について説明。

(委員)

資料6別紙1「計画の実績の乖離」において、例年の実績から乖離した市町村について、理由等の状況は個別に把握されているか。

(再資源化支援部)

例年の実績から乖離した市町村については、個別に理由を確認しており、概ね状況は把握している。ただし、比較的規模の小さい島は理由が確認できていないため、今後も、島ごとの状況を把握したうえで個別に支援する。

(委員)

竹富町については、資料5「(1)計画の精度向上」において2014年度に精度が向上したとされているものの、資料6別紙1「計画の実績の乖離」において2015年度も引き続き支援する理由を説明されたい。

(再資源化支援部)

竹富町の台当たり単価は、2014年度計画10,886円から2015年度計画8,530円へ改善しており、計画の精度は向上したと考えている。今後は、2015年度の事業費予算執行率を検証する予定であるが、一方で、上記支援に伴う保有台数の再調査等の結果、事業の活用促進についても支援の余地があることがわかったため、事業の活用促進の観点からも支援する。

(委員)

議題4. については、承認する。

(再資源化支援部)

離島対策等検討会での承認を受け、2015年度離島対策等支援事業 出えん計画(案)及び2015年度離島対策等支援事業に係る指定再資源化機関の出えん要望額について(案)について、2015年2月27日開催の第60回資金管理業務諮問委員会に上程する。

以上